

Q ^{そうだん} どんな相談ができるのですか？

A ^{せいかつ ほ ご じゆきゆう} これから生活保護を受給した
^{ばあい} いという場合はもちろん、すでに生
^{かつ ほ ご じゆきゆう} 活保護を受給されている方で、福祉
^{じ むしょ} 事務所から保護を停止されたり廃止
^{ふ あん} されるのではないかと不安がある、
^{げんざい じゆうぎょ てんきょ} 現在の住居から転居したい、保護費
^{へんかん もと} の返還を求められている等、生活保
^{ご かか} 護に関わるあらゆる相談をすることが
できます。

Q ^{そうだん かね} 相談にお金はかかるのですか？

A ^{せいかつ ほ ご かん そうだん ばあい} 生活保護に関する相談の場合
^{そうだんしゃ いっさい きんせんてき ふたん} 相談者には、一切の金銭的負担はあ
^{たんとうべん ご し ほう} りません。担当弁護士が法テラスの
^{ほうりつそうだんえんじょ りよう どう} 法律相談援助を利用しますので、同
^{せい ど りよう てつづ きよりよくだ} 制度の利用手続きにご協力下さい。
^{おな もんだい げんそく かい} 同じ問題について、原則3回まで
^{むりよう ほう ほうりつそうだんえんじょ} は無料(法テラスの法律相談援助を
^{りよう そうだん う} 利用)で相談を受けられますので、
^{あんしん そうだんくだ} 安心してご相談下さい。



Q ^{そうだん ば しょ} 相談場所はどこですか？

A ^{き ほんてき そうだん たんとう} 基本的には、相談を担当す
^{べん ご し ほうりつじ む しょ おこな} る弁護士の法律事務所で行うことが
^{よ てい} 予定されています。
^{びようきとう ほうりつ じ む しょ} しかし、病気等で法律事務所ま
^{い ば あい しゅつちようほうりつ} で行けないという場合は、出張法律
^{そうだん か のう ば あい} 相談が可能な場合もあります。
^{くわ たんとうべん ご し う あ} 詳しくは、担当弁護士とお打ち合
^{くだ} わせ下さい。

Q ^{そうだん せいかつ ほ ご しんせい} 相談だけでなく、生活保護申請を
^{てつづ} 手伝ってもらうことはできますか？

A もちろんです。
^{ひつよう ば あい そうだん う べん ご} 必要な場合は、相談を受けた弁護
^{し ふくし じ むしょ どうこう いっしょ} 士が、福祉事務所に同行し、一緒に
^{せいかつ ほ ご しんせい おこな よ てい} 生活保護申請を行うことを予定して
います。
^{べん ご し どうこう しんせい さい ふくし} 弁護士が同行して申請する際、福祉
^{じ むしょ じじょう ていねい せつめい} 事務所に事情を丁寧に説明すること
^{てつづ えんかつ すず} で、手続きが円滑に進むこともあり
^{ぜ ひ そうだんくだ} ますので、是非ご相談下さい。

せい かつ ほ ご 生活保護 ほう りつ そう だん 法律相談



^{そうだんりよう むりよう せいかつ ほ ご りよう} 相談料は無料です。生活保護の利用に
^{こま かた き がる そうだんくだ} お困りの方は、お気軽にご相談下さい。

^{べん ご し かい はち おう じ ほうりつ そうだん} 弁護士会八王子法律相談センター

まどくちでんわばんごう 窓口電話番号 **042-503-5500**

^{うけつけじかん} 受付時間 ^{げつようび きんようび} 月曜日～金曜日

9:30～12:00

13:00～16:00

生活保護とは？

生活保護は、憲法25条に基づき、生活に困窮した全ての国民に「健康で文化的な最低限度の生活」を保障する制度です。食費等の生活費の他、家賃や医療費、教育費等について扶助を受けることができます。

生活保護を受けられるのはどんな人？

生活に困窮している方（国が定める基準を下回る生活水準の方）なら、生活困窮に至った原因にかかわらず、誰でも生活保護を受けられます。

まずは、ご相談下さい。

生活保護法律相談の手順

1

まずは、**042-503-5500**に
お電話下さい。
電話で、八王子法律
相談センターの職員が
お名前やご連絡先等の
聴き取りをさせていた
だきます。（相談の受け
付けであり、電話相談ではありません。）



2

弁護士会の方で担当弁護士を
決定し、担当弁護士に相談者の
方のお名前やご連絡先等を
伝えます。



3

担当弁護士から、
ご相談者の方に
電話等で連絡を
いたしますので、
相談の日程、
場所をお打ち合
わせ下さい。



4

担当弁護士と
③で決めた日時
場所で、面談相
談を行います。



生活保護について関心・理解がある弁護士が相談に対応します。

すでにお一人で福祉事務所に行って、生活保護を断られたとしても、
すぐにあきらめる必要はありません。一緒に問題解決を考えましょう。